



継承されていく畳職人の技術



製造工程を見学させていただきました



秋元昌希社長(中央)と秋元伸一郎会長(右)

市長の企業訪問

FACE to FACE ⑨

創業はペリーの黒船来航の1年前

市内で内装工事やリフォームを営む株式会社アキモは、嘉永5年(1852年)に秋元畳店として南畑に創業。当時、畳職人が江戸城に赴き、白装束に身を包み畳替えを行ったとの記録が残っています。庶民に畳が普及したのは江戸時代の後期。職業としての畳屋や畳職人が確立されたのもこのころと言われています。創業160年以上の歴史を誇る企業を訪ね、事業継承の秘訣やこれまでの苦労などを伺いました。

長年操業を続けてこられた秘訣

畳一筋で操業してきた老舗を継いだ5代目の秋元伸一郎会長は、「オイルショックが始まり不景気な時代で、何とか仕事の間口を広げたいと考え、昭和48年からインテリアを始めました。休む暇もなく注文が入り、こなすだけで精一杯でした」と当時を振り返りました。しかし、下請けが中心で厳しい経営を間近で見ていた6代目の昌希社長は、会社の原点である畳を見直し、畳の顧客からインテリアにつながる方向性に転

株式会社アキモト

所在地/上南畑3022



換します。また、父親が畳からインテリアに展開したように、自身も20歳を過ぎてから建築士を目指し、一から建築の勉強を始めた努力家でもあります。「父との意見の食い違いは今でもありますよ」と話す社長に対し、「親の立場からするとどこかで許し、息子と一緒に仕事をするだけでワクワクしますね」と会長は温かく見守っていました。長く続けてこられた秘訣は、愛情深い親子のつながりであると私は実感しました。

畳で地域社会に貢献

これまでも市内の小学校の図書室に畳を寄附していたり、昨年の台風19号では避難場所となった水谷小学校の体育館に即時に畳を搬入していただきました。災害時に全国の畳店から避難所に新しい畳を無料で届けるプロジェクト『5日で5000枚の約束。』に参加し、避難所での負担を少しでも和らげたいとの想いで活動されています。

日本人の生活に馴染みの深い畳を活かし、社会貢献事業に積極的に取り組む企業が地元にあることを誇りに思います。こうした活動が発展するよう行政もしっかり連携していきます。

3・4月の土曜開庁と業務時間延長

取扱い業務など、詳しくは市ホームページをご覧ください。

市役所本庁舎 ☎049-251-2711

【土曜開庁】

3月7日(土)午前8時30分～午後0時30分
3月28日(土)・4月4日(土)午前8時30分～午後5時15分

【業務時間延長】 毎週木曜(祝日を除く)午後7時まで

【開庁課】 市民課・保険年金課・税務課・収税課・子育て支援課・保育課(3月28日・4月4日は障がい福祉課・高齢者福祉課・水道課・学校教育課も開庁)

西出張所(鶴瀬駅西口サンライトマンション1階) ☎049-252-2331

【業務時間延長】 3月26日(木)・4月30日(木)午後8時まで

市ホームページなど



市ホームページ

<https://www.city.fujimi.saitama.jp/>

携帯版ホームページ

<https://www.city.fujimi.saitama.jp/mobile>



富士見市PRサイト

『キラリとかがやく
まち 富士見市』



子育て応援サイト

『すくすく子育て
FUJIMI』

人口と世帯数(2月1日現在)

人口…111,553人 (前月比 -67人)
男 55,159人 (前月比 -36人)
女 56,394人 (前月比 -31人)
世帯数… 52,038世帯 (前月比 -16世帯)



【市公式 twitter】

https://twitter.com/fujimi_city



【マチイロ】スマートフォンでも

広報「富士見」をご覧ください。

マチイロ 富士見市 検索



【市公式 facebook】

<https://www.facebook.com/fujimikouhou>



【テレ玉データ放送】テレ玉(地デジ3ch)視聴中にdボタンで市の情報をご覧ください。



【市公式LINE】無料SNSアプリ「LINE」で

「@fujimi_city」と検索



【ココシル☆ふじみ】

市の観光情報アプリ。「ココシル」で検索